

Japan Geoscience Union Meeting 2011

(May 22-27 2011 at Makuhari, Chiba, Japan)

©2011. Japan Geoscience Union. All Rights Reserved.



MIS036-P59

会場: コンベンションホール

時間: 5月26日 14:15-16:15

地震前の日本海溝陸側斜面の地形-震央域周辺における海底地すべり地形の分布と潜航記録- Submarine landslides of trench landward slopes in the Japan Trench before the earthquake

川村 喜一郎^{1*}, 佐々木 智之²

Kiichiro Kawamura^{1*}, Tomoyuki Sasaki²

¹ 公益財団法人深田地質研究所, ² 海洋技術開発株式会社

¹Fukada Geological Institute, ²Ocean Engineering & Development Co.,Ltd.

本発表では、東日本大震災前の日本海溝陸側斜面の詳細な海底地形図と潜水艇による潜航記録について示す。

使用される海底地形データは、1998年から2007年までにJAMSTECの「かいいい」および「よこすか」搭載の音響測深装置 SeaBeam2112 を用いて取得した。その範囲は、北緯 41 °の八戸沖から北緯 37 °の福島沖までの領域で、日本海溝を挟んだ東経 143 °から東経 145 °を網羅している。深海ではアンダー、浅海ではオーバーサンプリングになってしまうため、データ間隔の走査範囲を適切に設定している。この海底地形図では、各所に、幅数十 km の円弧状にえぐられたような大規模崩壊地形が認められる。そのような斜面の崩壊で滑落したブロックの可能性のある地形の凹凸が認められる。

ここで発表する海底地形は、今後取得されるだろう地震後の海底地形や潜水調査記録を考察する上で、重要なデータセットとなるだろう。ただし、これらの地すべりの可能性ある円弧状の地形は、地質学的な時間スケールで形成されたものであろうことを念頭に置いておく必要がある。

キーワード: 海底地すべり, 潜水船, 海底地形, シービーム

Keywords: submarine landslide, submersible, bathymetric map, seabeam